

## テストセンター

その名の通り、開発側が様々な動作チェックなどを行うために臨時で開設する特別なシャードです。大きな仕様変更が予定されている時に、その正式導入前の動作確認をする・・・などの目的があるため、その目的が達せられたら消滅もしますし。キャラクター転送のサービスでもテストセンターを対象には選べません。

その時によってシャード名は様々ですが「TC」という言葉がついていたら、それはほぼ間違いなくテストセンターです。ただ全く異なる名前が付くこともあります。その辺は公式ページのほか、「UO Stratics」にてアナウンスされることが多いです(この英語サイトですが、開発スタッフが直接フォーラムにメッセージをポストするというサイトです)。

テストセンターは通常のシャードとは異なる点が幾つかあります。突然データが初期化されたりもするので、そこは覚悟の上でキャラクターを作成しましょう。必ずしもそうとは限りませんが、特定のシャードのデータをコピーしてテストセンターとして流用されたりすることもあるようです。

テストセンターは通常のハウジング・サーバからは切り離されています。だから、既に家を持っているアカウントでも、テストセンターに家を建てるのが可能で、それによってその他のシャードに建っている家が接収状態になることもありません。家を建てるための確認などに使用できるともいえます。

ベテラン報奨ももらえることがあるらしいですが、貰った数としてはカウントされない模様です。

テストセンターでキャラクターを作り、バンクボックスを開くと分かると思いますが、様々な動作確認用に、最初から普通ならあり得ないアイテムの数々が手に入れられるようになっています。また、ステータスやスキルも自分の好きなように設定できます。このため、様々な仕様チェックが簡単に出来るようになっています。

能力値の調整などは、全て発言コマンドで行います。

## テストセンター独自の発言コマンド

テストセンターによって使えるコマンドにも差があるようです。確認するコマンドもありますので、それでチェックしてからデバッグに貢献しましょう(笑)。

help commands

そのテストセンターで利用できるコマンドのリストを表示させます。その時のテストセンターの状況に応じて、利用できるコマンドには違いがあり得る為、そうした時にこのコマンドで確認が出来ます。これ以降に挙げたコマンドも全てが使えるとは限らず、コマンド無しでもバンクボックスにアイテムが入っていることもあります。

give resources

生産素材や生産用のレシピなどがバンクボックスに入ります。

give armor

ウェポンやアーマーなどのセット装備が全てバンクボックスに入ります。

give arties

アーティファクト (AF) やマイナーアーティファクト等が全てバンクボックスに入ります。

give tokens

各種トークンがバンクボックスに入ります。

set (能力名) (変更後の値)

ステータスやスキルを変更する発言コマンドになります。

ステータスを変えたいときは、能力名に「str」「dex」「int」のいずれかを指定します。変更後の値は 10 ~ 125 の範囲で指定します。ステータス合計の上限は普通に働きますので、その範囲内で変更しなければなりません。

スキルを変えたいときの能力名は、基本的にそのスキル名になります (スペースがある場合は省略してつなげる)。が、そうでないものもあり、直感的に分かりづらいこともあるので、長くなりますが以下に挙げておきます。下線が付いているのはスキル名と異なる言葉になっていることを表します。

alchemy「錬金術」、anatomy「解剖学」、animallore「動物学」、animaltaming「調教」、archery「弓術」、armslore「武器学」、begging「物乞い」、blacksmith「鍛冶」、fletching「弓矢工」、bushido「武士道」、camping「野営」、carpentry「大工」、cartography「測量」、cooking「調理」、chivalry「騎士道」、detecthidden「探知」、discordance「不調和」、evalint「評価」、fencing「槍術」、fishing「釣り」、focus「集中」、forensics「検死」、healing「治療」、herding「牧羊」、hiding「隠蔽」、inscribe「書写」、itemid「鑑定」、lockpicking「開錠」、lumbejacking「伐採」、macing「棍術」、magery「魔法」、meditation「瞑想」、mining「採掘」、musicanship「音楽」、necromancy「霊媒」、ninjitsu「忍術」、parry「受け流し」、peacemaking「沈静化」、poisoning「毒」、provocation「扇動」、removetrap「罠解除」、magicresist「耐性」、snooping「詮索」、spellweaving「織成呪文」、sprintspeak「霊話」、stealing「窃盗」、stealth「隠密」、swords「剣術」、tactics「戦術」、tailoring「裁縫」、tasteid「味見」、tinkering「細工」、tracking「追跡」、veterinary「獣医学」、wrestling「格闘」

指定する数値は 0 ~ 1200 になります。100 にしたい場合は「1000」と指定するわけですね。PS は導入済み扱いなので、120 まで上げられるスキルは「1200」まで指定できます。なお、スキル合計値の制限 (700 + ) は通常通り働くため、その範囲内で変更しなければなりません。

---

---